



7月の七夕祭りやそうめん流しでは、皆様にご協力いただき、楽しい行事となりました。また、職員だけでなくたくさんのお父さん・お母さん・おじいちゃん・おばあちゃんがお手伝いをして下さり、思い出いっぱいの時間を過ごすことができました。ありがとうございました。かえで保育園では大人主体の行事企画ではなく子どもたちの保育園生活での思い出として楽しめればと思い年間計画を立てています。行事ではお手伝いを募集しますので、ご都合がつく方は少しの時間でも結構ですのでご参加ください。

先日より施設長専門講座を受講するため時間をいただいています。内閣府・文部科学省・厚生労働省から告示され30年度より保育所保育指針・保育要領・幼稚園教育要領の改正に基づき、様々な研修が行われています。保育園は「養護」・幼稚園は「教育」という分けられた関わり方がありました。これからは「保育・教育」の中で乳児期には保育・3歳以上児には教育という同じツールで子どもたちの保育の計画ができるようになります。確かな情報を聞き、30年度に向けて保育の計画をしていきます。

これからの教育は「環境を通して行う教育」を目指し、生きる力をはぐくむための幼児期に最も大切なことは、自然に触れ、感じ、考え、工夫する力をはぐくむことなどを重要視していくということがどの講座を受講しても言われています。幼いころから英才教育(英語や公文など)を週1回することより、子どもが自ら体験する毎日の出来事に自らが「思うこと・考えること・納得するまで向き合うこと・苦手なことに挑戦すること・友達と共に過ごすこと」などが積み重なってこそ、思春期を迎えたときに底力が出る！という教育課程は、以前よりかえで保育園の大切にしていた教育方法で、その話をもっともっと深めていく「確信」となりました。子どもたちが発見したり、感じたりすることを傍で見守り、その次にどのように環境づくりをするか、子どもがどのように考えていけるかをサポートする保育を計画することで保育者も育ってきています。その保育者を導いていくことで私も教育の真実を確信できるようになってきています。この営みが可愛い子どもたちから提供してもらえらる保育・教育施設は素敵な空間です。

毎日繰り返す水遊び1つにしても1歳児からもうすでに体験し感じています。

- 先ず、蛇口から水を手にかける ー冷たい・ちょっとぬるい・体験する
- 水を出す ー多い・少ない・・・量の加減
- 水の流れ ー勾配や流れ方を知る
- たくさんの水質に気付く ーぬるぬる・べちゃべちゃ・さらさら
- 玩具を使う ー食べ物に見立てる…模倣遊びやお店屋さんへ発展…対人関係

など何気ない子どもたちの遊びを分析していくと繰り返すこと自分でして試みる事・人の模倣ができること、それを見守る大人が必ず傍にいます。

夏は子どものやる気スイッチがたくさん入る季節です。水遊び・虫探し・絵の具遊び・しゃぼん玉や石鹸遊び…暑さを吹き飛ばしてたくさん遊んで疲れて休んでまた遊ぶ…楽しみです！



～お知らせ～

7月15日、神戸三宮で猪塚先生の結婚式が行われ、幸せいっぱいの様子を母の気持ちになりながら参列してきました。今後は「木下」に姓が変わり、心新たに保育に力を注いでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

8月12日より原田先生が産休・育休に入ります。ゆっくり身体を整え「母になる準備」に入ります。原田の後は、林奈津美がリーダーとして頑張ります。保育補助として小坂橋先生を中心にベテランのパート保育士が保育に携わります。よろしくお願いいたします。

にこにこメッセージ♪

暑い日が毎日、園庭では、子どもたちは“水”を使った遊びで盛り上がり、夕方は同じ“水”でも色水作りや草花への水やり、泥団子作りなど、子どもたちはあそびに工夫が見られます。活動や経験を繰り返していく中で、深まりが出てきました。保育者が、一人ひとりの子どもたちが今、何に興味・関心を持っているか共に過ごすなかで、その瞬間を感じ取りながら保育を進めています。今月も暑さを楽めるよう、工夫し元気に過ごしていきたいと思っています。

先月、3・4・5歳児は簡易の視力検査と4・5歳児はオーディオメーターを使用した聴力検査を園内で行いました。検査を行うのは、西宮市の保健衛生ハンドブックのマニュアルに基づき行いますが、中には初めて検査を受ける3・4歳児の子どもたちは不安そうになる子もいますので一人ひとりの子どもたちの様子を見ながら進めています。視力検査はおもちゃのめがねの片方レンズなし、片方は黒いテープのようなもので覆われているものを使用します。それと子どもたちの顔と同じ大きさぐらいもある視力検査の輪っかのような形のもの（ランドルト環）を持ち、5メートル離れた検査ボードの真似っこをします。片目も隠され、少し緊張した子どもたちも慣れてくるとだんだん楽しくなってくるようです。昨年経験した子どもたちは、年下の子どもたちに「怖くないよ！大丈夫だからね」「ちょっと難しいけど先生のお話聞いときよ」「めっちゃおもしろいでーもっとやりたかった」など声をかけてくれたり、だいちゃんになるとちょっとすました顔で取り組む子もいます。検査ですので気になることがあれば園と園医の先生方と連携を取り、保護者の方へお知らせし、病気を早期発見できるよう取り組んでいます。今後も健康に過ごすことの意味も機会を作り、話していきたいと思っています。

主任保育士 藤森寿美

せんせいからのおはなしコーナー

先日、紅茶フェスタというイベントに行きました。各地方の紅茶から海外の紅茶まで種類がたくさんあり、紅茶好きの私にとってはワクワクするような空間でした。学生の頃、旅行先のシンガポールで飲んだ紅茶がとても美味しく虜になりました。それ以降あの紅茶に似たものを探し始めたことをきっかけに紅茶好きになりました。休日に紅茶を探しに出かけることもあります。最近では、旅行先の各地方限定の紅茶を集めて飲み比べをすることも楽しみの1つです。その日の気分に合わせて種類を選んで心も体もゆっくり落ちつけるような気がします。

まだまだ探し切れていない紅茶の種類があるので、おすすめのお茶があれば、ぜひ教えてください。

日笠 加菜

私事で恐縮ですが、先日の7月15日に無事神戸で挙式を迎えることが出来ました。天気にも恵まれ、大切な家族、親戚、友人、職場の皆様に見守られながらとても幸せな一時を過ごすことが出来ました。また、昨年心臓を患った父に元気な姿でヴァージンロードをエスコートしてもらえたこと、90歳の祖父母に花嫁姿を見せることができました。

進学を機に兵庫に移り住んで7年。「卒業したら香川に帰る」と決めていた私が、まさか兵庫の方に嫁ぐとは想像せず、家族も大変驚いていましたが、これからは少し離れた所から家族を思いつつ、新しいパートナーと協力し合って、温かい家庭を築いていきたいと思っています。

また、夫婦円満の秘訣、笑顔の溢れる家庭の秘訣を教えてください。

木下（猪塚）明友美

～乳児からのお願い～

- 水着用として使用するパンツを入れる袋のご用意をお願いします。（めばえ・ふたば）
- 健康調査票の記載を忘れずをお願いします。
- 提出物は直接、職員にお渡しください。

～幼児からのお知らせ・お願い～

- 名前の無い服があり大変困っています！！
同じ洋服を着ていることもありますので、必ず記名をお願いします。
- 健康調査票の記載を忘れずをお願いします。

～めばえぐみ～

ねらい：「水遊びを楽しもう」「いろんなことに挑戦してみよう」

う た：「キラキラ星」「こぶたぬきつねこ」「イッポンバシ」「おふねがぎっちらこ」

毎日天気の良い日が続き、外からはセミの鳴き声が聞こえます。7月は子ども達の体調に合わせ、園庭に出たりお部屋の中でゆったりと過ごしました。園庭に出るとセミや今まで見たことのない虫を見つけたり子ども達は毎日、色んな発見があったのではないかと思います。毎日いろんなものに刺激を受けながら生活をしています。

～太鼓どーんどん～

保育園生活にも慣れいろんなものに興味を持つようになった子ども達。初めての楽器遊びをしました。部屋にボンゴという太鼓を出すと興味津々で近づいてきます。



保育者が何度かどんとどんと叩くと子どもたちも真似をして叩き始めます。初めての楽器に、大きな音にびっくりする子もいればすぐに楽しそうに叩く子もいました。太鼓に慣れてくるとみんなが大好きな「おもちゃのチャチャチャ」などの童謡を歌うと体を揺らしながらリズムに合わせて叩いたりもしていました。ほかの楽器遊びにも挑戦していきたいと思っています。

～ペタペタ～



指絵の具を使って絵具あそびをしました。手に付いた色をじっと不思議そうに見て模造紙を触ってみると手の形や色んな模様が出来上がり子どもたちの表情がぱーっと笑顔に変わりました。それから何度もペタペタと絵具を付けて楽しんでいました。絵具がつかなくなると「もっとつけて」というように「はいっ」と手を保育者に見せてきます。たくさん絵具を付けると今度は模造紙だけでなく自分の足にもつけて色を楽しんでいる子もいました。初めての感触で泣く子もいましたがお友達が楽しそうにやっているのを見て



刺激を受け保育者に見守られながらやってみようと挑戦していました。また、手以外にも足の裏に色を塗り歩くと足型も出来ます。ペタペタ歩き、振り返ると自分の足形が！おもしろい、なんでだろうと子どもたちは様々な気持ちで楽しんでくれていると思います。赤・青・緑・黄色の4色で子供たちの手形や足型の素敵なアートが完成しました。

“担任の思い”

保育者との信頼関係も出来てきており、子どもたちは担当保育者に甘えたり自分の欲求を訴えます。その気持ちを受け止めることで子どもたちは安心して過ごすことが出来ています。自分のしたいことややりたいことがはっきりと出てきて上手に出来ないと怒ったり感情も出すようになりました。子どもたちの気持ち一つひとつを受け入れながら丁寧に関わっていきたいと思っています。また、毎日の生活の流れを覚え、自分でしようとすることも増えてきました。毎日の成長をみんなを感じていきながら過ごしていきたいと思っています。暑さがまだまだこれから続きますが子どもたちの体調に合わせていきながら水遊びも楽しみたいと思います。

足立真裕子・須藤聖美・林千紗

～ふたばくみ～

ねらい：「プールあそびを楽しもう」

うた：「しゃぼん玉」「きらきら星」「むすんでひらいて」 わらべうた：「いちめど」「オッタコ」

梅雨も明ける前から気温が上がり、園庭へ遊びにいくと砂場や水遊びをしようとする子どもたちが増えてきました。暑くなると子ども達も自分の遊びやすい場所を知っているようです。友達と一緒に遊びたい気持ちが芽生えてきて「〇〇くん、ちゃんどこ？」と保育者に聞いて、「あそこにいるよ」と伝えると、傍へ行き同じあそびをして楽しそうに遊んでいます。これから友達との遊びや生活が楽しみです。

～異年齢との関わり～



4月からお友達との関わり方も変わり、最近では、自分から関わっていく姿が見られるようになりました。めばえぐみには、「そっちだめだよ」と声をかけてあげたり、「どうぞ」とかしてあげたりしています。つぼみ・幼児クラスへの関心は大きく、だんご虫やせみを取っていると傍へいき同じように探し、取った虫を見せてもらったり触ってみたいしています。水道で水をだしてペットボトルやじょうろに水をいれていると同じように自分で探しとってきて入れてもらったりしています。つぼみぐみと、始めて手をつないで園外にも出かけました。始めはどうかな…と担任同士も思いながら行って見ましたが、途中から慣れてきてつぼみぐみの子ども達が手をしっかりつないで前へついて行く姿がみられ、ふたばくみの子ども達もいつかこのような姿になれば嬉しいなと思いました。保育園の中で、保育者がいつもあそびに入らなくても、子ども達同士の中でやさしい気持ちや遊び方を自分で学んでいっていることに改めて感じる事ができました。これからも楽しみに子どもたちの成長を見守っていこうと思います。

～室内あそび～

いつも同じ空間あそびの中では積み木遊びが広がってきました。春は3種類の積み木をいつも置いて、遊ぶスペースも2～3人での空間だったのですが、今は4種類でスペースも4～5人で遊べるようになりました。始めは積み上げる事が多く遊ぶ子どもも少なかったのですが、今では横に並べたりイメージをして作ったりするようになり、みんなが必ずあそびあそびにいつの間にかなっていました。色々な形もありそれぞれ考えながら作っている姿に保育者も楽しんでみえています。

手先のあそびも、以前は握るから親指と人さし指でつまんで遊ぶことも出来るようになり、遊ぶ機会を多く取り入れています。絵の具あそびも行い、初めは「触っていいの？」といった感じでたが「つけてここに描いていいよ」と伝えると手のひらいっぱいにつけて、模造紙に赤や黄色など混ぜながらたくさん塗

ってあそんでいました。途中顔についても平気で友達と顔を見合わせる時もありました。シャワーの時は流れていく絵の具をじっとみていて不思議そうにする子どももいました。

“担任の思い”

プールあそびも始まり、子ども達にとっては初めての少し大きなプールとなります。体調に合わせて短時間ではありますが一緒に楽しく遊んでいこうと思います。休息をしっかりととり、ゆったりと過ごす時間も大切にして室内での遊びも充実出来るように心掛けて過ごしていきます。また、友達との関係もどのように発展していくのか楽しみにしています。生活では、少しずつ自分で出来る事も増えてきましたので、保育者が見守るなか言葉のやり取りをしながら、自分でやってみる姿を受け止めていこうと思います。

ねらい：「水や植物を通して初夏を楽しむ」

う た：「しゃぼんだま・三ツ矢サイダー・ゾウさんの帽子・むすんでひらいて」

7月になり暑い日が続いています。顔を真っ赤にして取り組んだり、涼しいところを見つけて休憩したり、子どもたちも暑い夏を楽しんでいます。つぼみさんがよく集まる水道の前では、「かして～」「まだよ～」「じゅんばんこ」などお友達同士の会話も増え、一緒に遊ぶ楽しさを感じています。また、7月中旬からランチルームで食事を開始しました。幼児さんたちと食べたり、助けてもらったりしたことで、普段の遊びの中にも関わりが増えてきて嬉しく思います。

“お水大好き！”

お水遊びが大好きなつぼみ組さんたちは、園庭に出るとよく水道の周りで遊んでいます。アワアワの石鹸水でお洗濯をしたり、ペットボトルにお水を汲んだり、全身びしょりになってもへっちゃらです。さらに、お水大好きなつぼみさんにとってとても楽しいプールも始まりました。「プール！」「水着持ってきたよ！」と始まる前から嬉しそうでした。いざ入ってみると、みんな全身でぬれることの出来るプールに大はしゃぎ！ワニになったり、おもちゃを使ったり、ジャンプをして飛び散るしぶきをかぶったり…全力で遊びました！



“待ちに待った枝豆の収穫”

5月から大切に育てていた枝豆をやっと収穫することが出来ました。実がなり、大きくなっていくにつれて「赤ちゃんの枝豆できてる」「まだ食べられないね」「まだかな」とわくわくしていたつぼみさん。当日は「あった～！」と自分の収穫した枝豆を嬉しそうに見せてくれました。収穫した枝豆はお調理の先生に湯がいてもらいおやつ時間にいただきました。自分で「むきむきする～」と挑戦して、みんなパクパク食べていました。「おかわりください！」とたくさんあった枝豆はきれいに無くなりました。

また、収穫の後は、葉っぱで絵の具遊びもして枝豆をたっぷり感じる事が出来ました。



“担任の思い”

毎日の遊びの中でお友だち同士の「一緒」が増えてきました。同じ物を持ってお揃いを喜んだり、ご馳走を作ってパーティを開いたり、パズルを協力して完成させたり…盛り上がりながら遊んでいます。また、おもちゃを貸してほしい時には「かして」「あとでね」「いいよ」など子どもたち同士で気持ちを伝えあっています。日々自分の気持ちを伝える事がどんどん上手になってきており、これからお友だちでの会話や遊びがどのように変化していくのか楽しみです。

ねらい：「思い切り体を動かす」「不思議を見つける」

う た：「ホ！ホ！ホ！」「おばけなんてないさ」

園庭からお部屋に帰ってきて帽子を脱ぐと、汗で髪の毛がべったりと濡れ「あつかった～」とみんなの満足したような笑顔が溢れています。園庭では“そうめん流し”をしてから自分たちで竹を組み立てて水を流し、「水流すよ！」と呼びかけながらみんなでそうめん流しごっこを楽しんでいます。お部屋の中では“七夕まつり”からお祭りごっこが始まり、浴衣を着ながら屋台でおにぎりやポテトを売っています。日々の出来事がみんなの心に残っているようです。

“きゅうりおっきくなってる！”

暑い園庭に出ると毎回聞こえるこの声。いぶきさんは園庭に出るときゅうりの成長を見るのが日課になってきていて、赤ちゃんきゅうりや小さなお花を眺めては嬉しそうにしています。一度に2、3本実が付くこともあり、大きさを見比べて「おとうさんきゅうり」「おかあさんきゅうり」「おにいちゃんきゅうり」とそれぞれの名前を付けていました。



“きゅうりのサンドイッチ”

絵本「サンドイッチのつくりかた」にきゅうりが描いてあるのを見て、サンドイッチを作りたいいぶきさん。そしてついに、サンドイッチを作る日がやってきました。中にはみんなが包丁で切ったきゅうりとツナマヨ。「どのきゅうりを入れようかな…」と悩みながら分厚いきゅうりをパンに乗せました。一口食べると「おいし～い」「きゅうり食べたで！」と、自分たちで作ったことでとびきりおいしいサンドイッチになったようです。まだまだ出来るきゅうり。今度は何を作るのでしょうか。



“プールあそび”

プールあそびが始まり、思い切り水を感じて楽しんでいます。毎日「今日、プールあるの？」と聞くほど大好きなプール。水の中でワニ歩きをしたり、お友達に優しく水をかけてあげたりしています。先生に引っ張ってもらい、水の中で足を浮かせて泳ぐこともあります。まだ怖い子もいますが、水の中で泳ぐ感覚が感じられたらと思います。



“担任の思い”

生活の中で“楽しい”“面白い”と感じることは何だろう、と私自身も子どもの気持ちになって日々生活しています。栽培、クッキング、水遊びなどみんながやってみたい、こんなことも出来たらという気持ちを汲み取っていきたいと思っています。きゅうりのサンドイッチ作りはみんなの願いが詰まったクッキングだったので、作ったときのみんなの笑顔はとても素敵でした。みんなの「やってみたい！」とキラキラした目がたくさん見られるように一緒に楽しんで過ごしていきます。

谷角 早紀

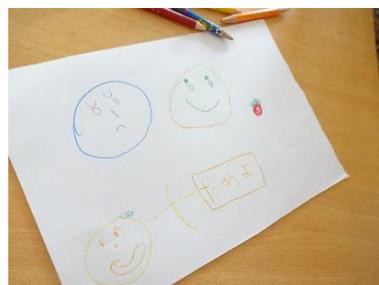
ねらい：「みんなで一緒に遊ぶ中で相手の思いを知る」

うた：「にじのむこうに」「アイスクリームのうた」

暑い日が続き汗ばむ日が続くようになりましたが、プール遊びも始まりまし た。先月から水遊びや泥遊び、虫捕りと自然を通して季節を楽しむことができるよう取り組んできました。部屋の中から蝉の鳴き声が聞こえると「外出たら一緒にセミ探しに行こう」「セミの音いっぱい聞こえるね」とワクワクしながら園庭にでるのを楽しみにしています。8月もたくさんの興味のあることを経験していきたいと思います。

“緑のトマトはどうする？”

5月から育てていたトマト。園庭に出ると「大きくなってるか～」「あ！小さいのができてる」と鬼ごっこや水遊びをしながらも少しずつ大きく育つトマトを観察していました。だんだん実が大きくなるを楽しみにしていましたが、大きくなるにつれてほとほと緑のトマトが落ちていっているを見る発見。幼い子が取ってしまったと聞くと「いいのいいの」と話ながらも「でもちょっと悲しいな」と子どもたちで話し合う中で「どうしたらいいかな」「取ったらだめだよって描いてみる？」と子どもたちの提案から絵を描くことになりました。トマトの絵を描いたり「怖い絵描いたら取らないかな？」と鬼の絵を描いたりいろいろな絵を描いていました。「字だけだったらめばえさんとか分からないから絵にしてみる？泣いてる絵とかね」と子どもたちでどうしたら分かりやすいか話し合いながら描いていました。その後も落ちた緑色のトマトは食べられるかな？と図鑑で調べてみたり、「みどりはまだ赤ちゃんだから食べられないかな」とちょうどその時に捕まえた青虫に上げてみると食べてるよ！と小さく食べた後が。今は早く赤くならないかな～と園庭で遊びながら様子を見ています。



“プール遊び”

待ちに待ったプール遊びが始まりました。「はやく入りたい～」「入ったら何して遊ぶ？」とワクワクしながら準備をしています。プールに入ると頭、顔に水がかかってもへっちゃら。身体全身で飛び込みダイナミックに遊んでいます。フラフープを使って「イルカみたいにしよう」とフープをくぐったり、お友達同士でトンネルを作ってみたりと「とても水慣れしていてびっくりしました。」と先生も驚くほど、水に親しみ、ダイナミックに遊んでいます。

“担任の思い”

ひかり組に関わらず、いぶき、だいちといろんなお友達と水遊びやままごとで遊ぶ姿を見ると嬉しく思いつつ、子ども達の中でいろんな経験をしている所なんだと感じます。園での生活を通して、子ども同士の中で「手伝ってあげたい」「何か困っているのかな？」「声をかけてあげようかな」と相手への気持ちを知らうと話しかけたり一緒に挑戦しようとする姿も見られるようになってきました。子ども同士の関わりの中でお友達はどのように感じているか、もし自分が一緒に立場だったらどう感じるかを保育者と共に考えていきたいです。伝言ゲームや椅子取りゲーム等子どもたちの中で楽しむ子も多いので、簡単なルール遊びも取り入れて一緒に遊びたいと思います。

ねらい：「夏の過ごし方を知り、生活の中に取り入れる」「表現することを楽しむ」

う た：「バナナのおやこ」「きっとできる」

7月から始まったプールあそびでは、楽しみながら水に触れていくうちに心地よさや挑戦したい気持ちも見られるようになってきました。8月も引き続き楽しみながら、泳ぐことに繋がるようなあそびを取り入れいきます。一人ひとりの“やってみたい”が実現できるアートコーナーでの活動も見られ、その中で友だちとの関りも生まれています。絵の具コーナーでは自分のイメージを表現したり、園庭では毎日汗を流しながら蝉取りに熱中する子の姿も見られました。暑い日が続きますので、夏を心地よく過ごすための方法を見つけ、生活の中に取り入れることで8月も健康に過ごしていきたいと思えます。

“ピーマンパプリカなぜ取れる？”

だいち組で育てているピーマンとパプリカの花が咲き、実も大きくなってきています。収穫の日をカレンダーに記して毎日観察しながら楽しみにしていましたが、残念なことに収穫の日を迎えるまでに実が落ちてしまいました。「何でだろう？」毎日プランターの土の上に落ちている実を寂しそうに見つけては、みんなで想像します。「風かな？それとも鳥かな？」だいち組のみんなで考え、一昨年の卒園生が作ってくれたかかしを修理して、ピーマンとパプリカを守ってもらうことにしました。「これで鳥からは守れるよね」と、今後の成長を見守っているところです。

“牛乳こぼれとるやん”

おやつ時間、だいちさんに入れてもらった牛乳を自分で机まで運ぼうとしていたいぶき組のAちゃん。あと少しで机に辿り着くところで、手が滑りコップを落としてしまいました。驚いたのと、どうすれば良いのか分からず、ただただ自分の足元にこぼれた牛乳を見つめていたAちゃん…。すると、先に座っていたペアのだいち組Bくんが、気付きました。「ああ、牛乳こぼれとるやんー！」状況を把握すると、嫌な顔一つせず急いで雑巾を取りに向かいこぼれた牛乳を拭いてくれました。「よし、次は…もう一回牛乳入れてあげるからね」コップに再び牛乳を注ぎ終えた後、もう一度自分で運ぼうと手を伸ばしたAちゃんの横から「次は僕が運んであげるからね」と優しく声をかけて机まで運んでくれたのです。牛乳の入ったコップを慎重に運ぶBくんの背中を、Aちゃんはじっと見つめていました。

AちゃんBくんが席に着きおやつを食べ始めた頃、先に食べ終えただいち組のCちゃんが傍を通りました。「あれ、何かここ塗れてる」「ああ、さっき牛乳がこぼれちゃってね。Bくんが拭いてくれたんだけど、まだ少し残ってたかな？」Bくんも気づき「あれ、まだ残ってた？拭いたんだけどな」一生懸命頑張ってくれたBくんに声をかけながら、お世話好きのCちゃんとの繋がりが生まれればと思言言葉をかけてみました。「大丈夫だよ、きっとCちゃんが助けてくれる。」するとCちゃんはさっと雑巾を手に取り、「お掃除名人の私に任せとき！」とはりきって掃除を始めてくれました。「ここにも飛び散ってるやん」Cちゃんが笑顔で仕上げ磨きをしてくれたことで、Bくんも“そこにもあったのか！”といった表情で様子を眺めていました。

“担任の思い”

Bくん自身の食事がこぼれてしまったことも、これまで何度かありました。“またこぼれちゃった”そんな落ち込んだ表情でしばらく足元を見つめる姿を見せていたBくんだからこそ、大好きなペアのAちゃんが困っている気持ちに気づき、敢えておどけた言い回しで場を明るくしてくれたのではと感じました。相手の心の痛みが分かること、それが相手への思いやりに繋がり、互いに歩み寄る関係性が築いていけるのだと思います。牛乳を運ぶBくんの背中をじっと見つめるAちゃん、恥ずかしがり屋のAちゃんがペアのお兄さんに心を開いている訳が少し分かったような気がしました。

保護者の方からのおはなしコーナー

今までお風呂で顔にお水がかかるのを極端にイヤがっていましたが、スイミングに行き、自ら進んで目を開けられるようになり、最近はお風呂でも顔にお水は大丈夫になりました。先日の保育園のプールでも、お目め開けておもち取れた！と嬉しそうにお話してくれて、とても嬉しく思いました。

だいち組 とよこさん

先日、ペアのお子さんのお母さんから娘のエピソードを聞きました。いつもお世話してもらっているというイメージしかなかった娘ですが、ひかりさん、いぶきさんのペアのお友だちのお世話を一生懸命しているようです。泣いていたら、寄り添い、困っていたら駆け寄り、一番に声を掛けにきてくれると。

異年齢のお子さんと過ごし姉妹のように成長する、次女にとってお姉ちゃんを経験できる、とても素敵な環境が保育園にはあると改めて思いました。

だいち組 えりさん

保育園で遊んでいる手遊びを家でもすると、一緒に真似をして遊んでいます。

めばえ組 まどかさん

朝起きるのがとっても苦手な息子。なかなか起きられず、「保育園行かない！」とぐずすることもしばしば。何とも情けない表情で出発するため、仕事中少し心配になることも…。それでも夕方迎えに行っておっそりのそいでみると、お友達と楽しそうに笑いあったり、時にケンカしたり、イキイキとした表情が見れてほっこりします。これからもたくさんケンカしたり、笑いあったり、共に大きく育て欲しいなあと願っています。

いぶき組 さなえさん

先日、娘とスーパーに行きました。「さなぎたべたい！」と言うので「？」と思ってその先を見ると「うなぎ」の写真が…。数日後、「水筒にはポッキーだよね～」と言うので、よくよく聞くと「パッキン」のことでした。子どもって音で言葉を覚えるんだな～と感心すると共に、くすっと笑える今日このごろです。

ひかり組 ようこさん

どんどん言葉を覚え、お話が上手になってきた息子。最近、保育園で行った事や、お昼ごはん、特にフルーツやおやつの内容を教えてくださいられる様になりました。

少しずつ会話が成り立つようになり、日々の成長に驚いています。

つぼみ組 よしみさん

2歳になり、めばえの時と比べ出来ることが増え、やんちゃ道まっしぐら。

庭で遊んでいても先生の目を盗んで2階へ。家の中でもソファの背もたれに登ったり。

でも何にせよ成長している姿をとてもうれしく思います。

ふたば組 みずえさん

通い始めは毎日泣いていましたが、最近はお兄さんやお姉さんが「たいちゃん、おはよう」と寄って来て手を引いて連れてってくれ、泣かずにバイバイできる日が増えてきました。

クラスの中では一番小さくまだまだ泣き虫ですが、日に日にできることが増えてくる息子をとても頼もしく感じます。これからも、いろんな事を吸収し、強くたくましく育てられることを楽しみにしています。

ふたば組 りょうすけさん

～お台所から～

本格的に暑い日が毎日続いていますね。セミの声を聞きながら、夏を感じている毎日です。

夏は美味しい食材が沢山あります。旬の食材を食べて、暑さに負けず、元気に過ごせるように献立の内容も工夫しました。たくさん食べて暑い夏を乗り切ってほしいです。

7月の食育活動の様子

- 今年の七夕のメニューはきゅうり・かにかまぼこ・錦糸卵を天の川に見たたせたちらし寿司と、おやつは星空に見たたせて、ブルーハワイのシロップとカルピスで二層のゼリーを作り、星形にした桃の缶詰を乗せました。子どもたちも「めっちゃきれい！！」と喜んでいました。
- だいち組は夏野菜を使って生地から練り上げて夏野菜のピザを作りました。生地をこねるのは大変そうでしたが、かえで保育園全員分のピザを仕上げてくださいました。野菜もチーズもたっぷりで、「また作りたい」と子どもたちからも大好評でした。
- 7月の誕生日ケーキは、旬のいちじくと桃とデラウェアを使ったケーキにしました。朝から「今日のケーキはどんなケーキにするの？」とお料理の部屋にやってくる子もいました。イチジクには???でした。
- 旬の梅を使ってひかり組は梅シロップ、だいち組は梅干しを作りました。梅シロップは氷砂糖が溶ければ出来上がり、梅干しは赤しその色が着く9月頃が出来上がる予定です。
出来上がり次第、子どもたちとクッキングなどで味わいたいと考えています。

その他に、とうもろこしの皮むきをしたり、ししとう・ピーマン・万願寺唐辛子・甘長から好きなものを選んで食べる体験もしました。8月も衛生管理に充分気を付けて、子どもたちと旬の食材に多く触れていきたいと考えています。

8月の献立 旬の野菜

オクラ	トマト	きゅうり	かぼちゃ
ズッキーニ	とうがん	ピーマン	なす
万願寺唐辛子	メロン	スイカ	デラウェア

8月に予定している食育活動

- すんだ団子作り
- 夏野菜の浅漬け作り
- パフェ作り
- 夏野菜カレー作り



7月の誕生日ケーキ



夏野菜のピザ作り



七夕ちらし



実習生が入ります

- 8月1日～12日 関西学院大学 3名
 - 7日～19日 甲南女子大学 1名
 - 23日～9月2日 甲子園短期大学 1名
- ※甲子園短大の学生さんが14日～16日までインターシップにも来られます。

産休・育休に入ります

つぼみ組の原田が9月に出産となり、8月12日より産休・育休に入ります。代替保育士は現在勤務していますパートの先生方に入ってください。

学生の見学

8月30日に来年度の就職の学生さんがバスで西宮の保育園めぐりをされます。かえて保育園は、午前中の見学になります。

★お願い★

- 8月10日(木)～18日(金)は、夏期保育となります。できるだけ家庭保育をお願い致します。お仕事がお休みの方は子どもたちとゆっくりお過ごし下さい。
- 先日、記名のない服を玄関に展示しましたが、何点かしか本人のもとに帰りませんでした。大変もったいないことです。今後は記名のないものには見える場所に書かせていただくことも考えています。

こんなことしたよ♪

7月8日(土)に七夕まつりがありました。ヨーヨー釣りや宝つり、貝殻アート、初めての企画の「オリニギリ」などのお店がたくさん並び、お友だちや、先生と一緒に楽しみました。また、盆踊りでは民謡協会の方にもご参加頂き、子どもたちの元気な声が響き、とても素敵なお祭りとなりました。たくさんの方々のお手伝い・ご参加して下さった地域の方々、保護者の皆様、ありがとうございました。



19日(水)はそうめん流しを行いました。当日はお父さんやおじいちゃん、お母さん方にお手伝いいただき素敵なそうめん流しを手作りして頂きました。竹から流れてくるそうめんに大興奮の子どもたち、たくさん食べました。だいちぐみは竹でマイお箸も作りました。暑い中のお手伝いありがとうございました。



《8月の予定》

- 3日(木) 絵画
- 6日(日) 西宮市就職フェア
- 25日(金) 誕生会
- 29日(火) 絵画
- 30日(水) 同園会

*卒園児の小学生が里帰りしてきます。在園児と交流し、ともに食事をします。

<体操>

先生の都合で変更があります。

17・24・31日です。

- 夏期保育は8月10日から17日となります。12日(土)は簡易昼食となります。ご了承下さい。
- 夏休み中、卒園児の小学生のお手伝い保育の子どもたちが来てくれています。

《9月の予定》

- 20日(水) 人形劇観劇会